

## 第12回八雲町役場庁舎等整備調査特別委員会会議録

令和元年10月25日 八雲町議会議員控室

### ○事 件

(1) 役場庁舎等建設地別概算事業費について

### ○出席委員（12名）

副委員長	大久保 建一君	関口 正博君	佐藤 智子君
	横田 喜世志君	斎藤 實君	赤井 睦美君
	田中 裕君	牧野 仁君	安藤 辰行君
	宮本 雅晴君	千葉 隆君	黒島 竹満君

### ○欠席委員（1名）

委員長 三澤 公雄君

### ○出席説明員

町長	岩村 克詔君	総務課長	三澤 聡君
総務課主幹	吉田 種榮君	総務課庶務交通係長	吉田 正樹君

### ○出席事務局職員

事務局長	井口 貴光君	事務局次長	成田 真介君
庶務係長	松田 力君		

◎ 開会・開議

○副委員長（大久保建一君） 三澤委員長、最初は来るって聞いてたんですけども、急遽欠席になりましたのでよろしくお願ひいたします。

定足数の出席を認めます。ただ今より、第12回八雲町役場庁舎等整備調査特別委員会を開会いたします。

◎ 委員長挨拶

○副委員長（大久保建一君） 挨拶は割愛させていただきます。

◎ 事件（1）役場庁舎等建設地別概算事業費について

○副委員長（大久保建一君） それでは、前回9月12日に開催しました第11回の特別委員会で、町の方から示されました建設地別の概算事業費について説明を受けております。

質疑は、各委員が資料を読み込んだ後で、この機会を設けることにしておりましたので、この度の委員会では、各委員からの質疑から始めさせていただきたいと思っておりますのでお願ひいたします。

また、現在、町では、各地区での懇談会、アンケートを町民から意見を聞いておりますので、質疑に限らず、委員からの意見等も出していただければと思っております。

また、質疑意見が出尽くしましたら、この機会に庁舎建設に関する情報交換をできればと考えておりますので、まず、質疑の方から進めていただければと思います。

それでは、質疑ございませんか。

○委員（田中 裕君） せっかく町長来てるんだから、町長から一言いただければ。

○副委員長（大久保建一君） 町長から一言いただいた方がいいですか。町長から何かありますか。

○町長（岩村克詔君） 今日ですね、また、特別委員会ということで、このように設けていただいております。今、委員長さんから挨拶があったとおりですね、前回説明をいたしましたので、今日は皆さんから質問をいただいて、さらにですね、議員の皆さんの意見を取り入れながらですね、11月末、12月の頭まで町としての方向性を示しながら、12月の特別委員会の中で協議して方向性を決めたいという思いでありますので、よろしくお願ひいたします。

○副委員長（大久保建一君） はい。町長ありがとうございます。

それでは、質疑ございませんか。

○委員（佐藤智子君） はい。

○副委員長（大久保建一君） はい。佐藤さん。

○委員（佐藤智子君） はい。施設の複合についても、重々考えられているところだと思いますけれども、シルバープラザの方はどのような考えでいたのか。

私は町民センターを新しく建て替えるよりも、もしシルバープラザから保健福祉課が抜けるのであれば、シルバープラザが町民センター的な役割を果たすのではないかなというふうに個人的には思っているんですけども、どのようなご見解でしょうか。

○町長（岩村克詔君） 委員長。

○副委員長（大久保建一君） はい。町長。

○町長（岩村克詔君） 佐藤委員の意見は大変いいと思います。それで、本当にこのシルバープラザも、そろそろですね、大規模改修が必要だろうという時期もきておりますので、ただ、皆さんおっしゃっているのは、音響が悪いとか、いろんな部分を改修できればなど。町民センターの代わりになり得ると、私もそう思ってますので、これから進めるにあたってはですね、そういう考え方も組み入れながらですね、整備していきたいという思いでありますので、よろしく願いいたします。

○副委員長（大久保建一君） はい。次に質疑ございませんか。

○委員（横田喜世志君） はい。

○副委員長（大久保建一君） はい。横田さん。

○委員（横田喜世志君） 例えばA案なんですけど、これで現状の場所に建て替え、若しくはいろいろな公民館やなんなりを一緒にということも踏まえていくと、敷地的に相当きつという話も出てますので、その部分の解消という方法とかはあるんでしょうか。

○町長（岩村克詔君） 委員長。

○副委員長（大久保建一君） はい。町長。

○町長（岩村克詔君） この1並びにですね、その3まではこの場所に建てるということで考える分で行くとですね、駐車場の確保並びにですね、安全確保という面で行くとですね、大変難しいのかなということはコンサルの方からも説明されています。ただ、駐車場といえればですね、お金をもっとかければ立体駐車場等々も整備できる場合もありますので、それを踏まえてですね、これから検討してまいりたいと思いますけれども、ただ、安全面等々はですね、皆さんご存知のとおり、ここに役場庁舎並びに教育委員会等々が集まった場合にはもっとですね、交通が込み合いますというか、そんなこともあるので、なかなか難しいのかなというのは考えてます。

○副委員長（大久保建一君） 横田さんいいですか。

○委員（横田喜世志君） なかなか難しい。

○副委員長（大久保建一君） ほかに、質疑。

○委員（横田喜世志君） はい。

○副委員長（大久保建一君） はい。横田さん。

○委員（横田喜世志君） えっと、もう一つの案として、養護学校とか国立病院機構の八雲病院の敷地という案が出ております。この中で例えば、国立病院機構が来夏というのを前提にした場合、国立で持っている土地、そこ●●という言い方も変だけど、近隣も含めてあるんですが、それを一括という話になってるんでしょうか。

それで、例えばそこに出雲町の町営住宅のすぐ隣に医師住宅なりが建っている敷地も多分国立の敷地なんですけど、そういうところも含めての案を持っているんでしょうか。

○町長（岩村克詔君） 委員長。

○副委員長（大久保建一君） はい。町長。

○町長（岩村克詔君） 国立病院、機構さんからもですね、全部ということでもありますので、今病院の向い側の公営住宅の隣の土地建物についてもすべてということ話をされていますので、その辺については、今機構さんと打ち合わせをしていると。町としても、もし譲り受けるのであればすべてということ今想定をしております。

○副委員長（大久保建一君） はい。横田さん。

○委員（横田喜世志君） それでこの中では、例えば新しい部分というか、使えるであろうという既存の施設で載ってるんですけども、平屋建てなので、使えないという判断基準はどこにあるのかということ、それから、宿舎、官舎が建ってるし、ここには載ってませんけれども、昔の養護学校の施設だとか、それから一番新しいのでいけば、例えば人のものであるダイワハウスの物件の件というのは、どうしようという考えでしょうか。

○町長（岩村克詔君） 委員長。

○副委員長（大久保建一君） はい。町長。

○町長（岩村克詔君） まずはですね、宿舎についても解体ということでもあります。

ただ、ダイワハウスの建物についてはですね、これは国立病院機構とダイワハウスのお話でありますので、話の聞くとところによると、解体をして違約金というんですか、それを機構の方で払うという話はされていますが、まだ細部ですね、その辺の詰めはしてませんので。ただ、農業団体または漁業団体の方々から、研修の無料宿泊施設だとか、そのように活用できないかという話もありますので、その辺についてはまだ機構さんとのまだ詰めはしてませんので、どのようなかたちになるか。今のところすべて解体をするという話では進んでいません。

○委員（横田喜世志君） はい。

○副委員長（大久保建一君） はい。横田さん。

○委員（横田喜世志君） 今、すべてを解体するというのは、機構側が解体するんですか。

○町長（岩村克詔君） 委員長。

○副委員長（大久保建一君） 町長。

○町長（岩村克詔君） 今のところ皆さんご存知のとおり、このもしも庁舎をあそこに移転する、若しくは改築するということになると、合併特例債が使えるということになります。合併特例債は解体にも使えますので、そうすると、幾分良い条件で解体できると。

今、機構さんがあそこを解体して渡す値段も、解体しないで渡す値段も同じということ今想定していますので、町とすれば解体も地元の業者の仕事並びに特例債やいろいろな起債を使えたときには、例えば1億で解体できるものも起債を使えば町の負担というのは、3、4千万でいけるとなると、土地は安く取得できる。

さらにですね、機構さんの方には先ほど横田委員さんからありました、ダイワハウスの建物や、もし使える建物があるのであれば、それはこれから機構さんの方をお願いをし、ただ、これは町が売るとか貸すといってもですね、個人に貸してお金を取るのではなくて、そういう団体の無料のものとなることになると思っていますので、その辺はこれから機構さんと打ち合わせをしていきたいと思っていますので、よろしくお願いたします。

○副委員長（大久保建一君） いいですか。

○委員（横田喜世志君） はい。

○副委員長（大久保建一君） はい。そのほか質疑ありますか。

○委員（赤井睦美君） はい。

○副委員長（大久保建一君） はい。赤井さん。

○委員（赤井睦美君） 今、起債の話が出たので。私非常に無知で、改築も新築も全部自分で出さなきゃいけないと思ってたんですけども、昨日広報委員会で話してたら、新築は起債がたくさん使えるけれども、改築はそうでもないという話を聞いて、もしそれであれば、本当にオール新築にした方が町としては得なのかという話をしてたんですけども、その辺はどうでしょうか。

○町長（岩村克詔君） はい。委員長。

○副委員長（大久保建一君） はい。町長。

○町長（岩村克詔君） 確かに、起債の部分は合併特例債でありますので、先ほども言いましたけれども、解体も改修も改築も新築も使えると。

ただ、先ほど横田委員さんからありましたけれども、平屋の建物をコンサルで調べたところ、大変我々が使う床は、大変そのすべてを改修しなければならない。建物も病院の建物と我々が使う建物はちょっと違うので、改修にはかなりかかるでしょうということ言われております。

さらにですね、この間うちの学芸員と話しをいたしましたけど、なかなか資料館だとかそういうものには大変不向きであるという話もありますので、赤井委員さんもおっしゃっているとおりですね、改築というか新築で建てた方がお得な部分というのも、今説明会の中でもそういう話も出てますので、これから細部もう少し詰めながら、皆さんと議論を深めたいと思っておりますのでお願いいたします。

○副委員長（大久保建一君） いいですか。ほか。

○委員（佐藤智子君） はい。

○副委員長（大久保建一君） はい。佐藤さん。

○委員（佐藤智子君） その国立病院機構の土地代というのは、試算に入ってるものなんですっけ。その辺を確認したいと思います。

（何か言う声あり）

○町長（岩村克詔君） 委員長。

○副委員長（大久保建一君） 町長。

○町長（岩村克詔君） 国立病院の土地の値段というのは試算をしています。

ただ、試算というのは先ほども話しましたけれども、解体費と土地の値段ということで試算をしますけれども、こちらから支払うのは、ゼロということで考えております。

ただ、考えてますので、ただ、機構さんからも、だいたいそのようなかたちで示されてますが、先ほど委員会でも前も話しましたが、自分とすれば今マイナスの入札もありますので、解体の方が高いんじゃないのと、今押し問答をやっているところでありますので、まだ機構さんとはすっかりその細部まで詰めてません。

ただ、多分今年度終わるころには、機構さんとその辺は詰められるものと思っております。

○副委員長（大久保建一君） はい。佐藤委員。

○委員（佐藤智子君） 申し訳ありません。なぜ土地代がゼロというのが分からないんですけども。

（何か言う声あり）

○町長（岩村克詔君） 委員長。

○副委員長（大久保建一君） はい。町長。

○町長（岩村克詔君） 解体と土地代はあります。

ただ、機構さんと行政同士の買い方で、その按分で民間より安くなるという正当な理由で安くしていただいて、そのほかに解体費がありますのでそれを差っ引きで、今のところ町としては持ち出しはないと考えてますけれども、ただ、持ち出すよりは少しほしいなということで今交渉をしているということで理解をいただければなと思います。

○副委員長（大久保建一君） 理解できましたか。いいですか。

（何か言う声あり）

○副委員長（大久保建一君） ほかに質問や質疑ありますか。

○委員（千葉 隆君） はい。

○副委員長（大久保建一君） はい。千葉委員。

○委員（千葉 隆君） 私は、議会と町民との、いろいろな議会でも発信してるんですけども。情報交換ということで、今回私は落部地域に行かせてもらって、議会もはびあと熊石地区と、それぞれいろいろな調査についても意見をいただいております。理事者側も理事者側でいただけてます。

おおむね落部地域の人たちは、この周辺に住んでないもんですから、場所の選定よりも費用のことを重点にお話をいただいております。やっぱり全体的な費用を安くしてほしいと。だから建てることに対しては、老朽化もあるいは耐震化も必要だということで、ただ全体的な財政事情を考えてやっぱり建築してほしいと言われてましたので、できるだけその辺考えていかなければならないし、その財政的なことを考えると、どっちにしても集約するわけですから、集約されない残った場所、今まで活用していた場所の活用方法も考えていかなければならないと。

ということになると、単に建設費用だけじゃなくて、その活用の場にもお金がかかると。だからこそ財政的に安い試算の場所を建ててくれということが、やっぱりその地域から出てましたので。確かにこの今の試算でいえば、一番安い建築方法というか、あるんだけど、やはり残されたところにもお金がかかると。だから最優先事項が何かと言われたときには、やっぱりある程度建設コストを安くする方法でやってほしいなというふうなことが第一の条件になってくるんじゃないのかなって思うんでね。そこだけはやっぱり検討の中に入れてほしいなというふうに思います。

あと、議会でも視察に行って、何を視察に行って見てきたんだというふうに言われたんですけども、我々は悪いところも良いところも見てきたと。でもやっぱりコストがかかりすぎるといことは、やっぱり駄目なんだよという事例も実際は見てきたので。それと規模ね。規模に合わないものを建てても駄目だよとゆうのも見てきました。

それでやっぱり今一番コストが安いのは改修、既存の建物を利用するという案も一番有力されてるんで、そのときにある程度ワンストップサービスの部分で、フリーハンドで設計

するのと、やっぱりある程度、既存の建物を活用するときにワンストップがどこまでできるのかという悩みはあると思うんですけども、一義的な、財政的な部分もあるから、その辺はそれとして、やっぱりそれに合わせたワンストップにできる限り近づけるといって、100パーセントはできないと思うんです。フリーハンドで改修ということになると。既存の建物となると、やっぱりある程度動線の部分だとか配置の部分だとか含めて、課の連動性を含めてできない部分もあるんですけども、できる限り、多い町民が直接かかわる部分だけは、是非ともワンストップと案内係みたいなインフォメーションの部分のレイアウトだけはお願いしたいなというふうに思います。以上です。

○町長（岩村克詔君） はい。

○副委員長（大久保建一君） 町長。

○町長（岩村克詔君） 千葉委員ですね、そのコストというのはしっかりですね、我々もそのこれは簡易的に出してますので、これからコストも絞りながらですね、また、千葉委員も言ってる、皆さんの委員もおっしゃってるというのはワンストップで、窓口ですべて分かるようなというのは前から言われてますので、それを加味してですね、お金がかからないようにということで、これからもその辺を重点にですね、意見をまとめていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

○副委員長（大久保建一君） ほかに質疑ありますか。

○委員（佐藤智子君） はい。

○副委員長（大久保建一君） はい。佐藤委員。

○委員（佐藤智子君） その、アンケートの集計というのは、いつ公表になるんですか。

○町長（岩村克詔君） 委員長。

○副委員長（大久保建一君） 町長。

○町長（岩村克詔君） 今ですね、15日に締め切りまして、ただ、一昨日まできたのか。それも受け付けてますので、ある程度今月いっぱいまでまとめながらですね、来月の中ぐらいまでには、ある程度我々としても調査したいと。今全部確認してるのかな。

（「はい」と言う声あり）

○町長（岩村克詔君） すべて今確認してて、33.6パーセント返ってきてますので、その辺も含めて来月の中ぐらいまでにはある程度のまとめができるものと考えてます。

○副委員長（大久保建一君） そのまとめを出すときには、町民との話し合いを今やってますよね。あれなんかも一緒にまとめてくるんですか。

○町長（岩村克詔君） はい。委員長。

○副委員長（大久保建一君） はい。町長。

○町長（岩村克詔君） 今のところですね、委員長おっしゃってるとおりですね、今町民の話し合い、さらにアンケートを全部まとめて我々の方向性を決めながら、また議会の皆さんに諮っていききたいと。そんな思いであります。お願ひいたします。

○副委員長（大久保建一君） ほかに質疑ありますか。

○委員（佐藤智子君） はい。

○副委員長（大久保建一君） 佐藤さん。

○委員（佐藤智子君） そのアンケートは、どのくらい尊重するお考えなのか。

○町長（岩村克詔君） 委員長。

○副委員長（大久保建一君） 町長。

○町長（岩村克詔君） あくまでも、アンケートは尊重いたします。ただ、町としてもですね、当初のここの町内会の話し合いもやってきました。さらに八雲町内●●すべてもやりました。さらに今は落部、熊石も含めた話し合いもして、アンケートも入れながら総合的に考えて、それと先ほど千葉委員さんからあったとおりですね、財政的な問題、さらにワンストップの問題等々も加味しながら方向性を示して議員の皆様と議論を深めて決めていきたいと。そんな思いでありますので、御理解いただきたいと思います。

○副委員長（大久保建一君） 佐藤委員。

○委員（佐藤智子君） それで、もしA案の場合だったとしたらですね、それでもその機構とのやり取りというか、土地を買うということになるんですか。

○町長（岩村克詔君） 委員長。

○副委員長（大久保建一君） 町長。

○町長（岩村克詔君） 想定なので、想定で言うと、それはまだ決めてません。

ただA案になった場合にですね、これからのその八雲町の新幹線を見据えたまちづくりとして今の機構さんの土地を取得するのがいいのか、どうなのかというのはまだ検討はしてないので答えられませんけれども、徳川公園もありですね、あの辺もですね、いずれちゃんと整備した方がいいという話もあるので、その辺はこれから検討してみたいと思っておりますので、ご理解いただきたいと思います。

○副委員長（大久保建一君） はい。佐藤委員。

○委員（佐藤智子君） 先ほど出てきましたけれども、機構から示されている土地代と、それから解体費ですね、そういうのもこちら側にも明らかにしておいてもらった方がいいのではないかなと思うんですけれども、その辺は微妙なものでできないということなんですかね。願ってますけども、情報公開してほしいな。

○町長（岩村克詔君） 委員長。

○副委員長（大久保建一君） はい。町長。

○町長（岩村克詔君） 情報公開っていうか、前から議員の皆様にお示ししていますけれども、何回も話してます。

それで、前からもですね、土地代と建物代の解体費で大体ゼロだよということで話し合いをしていますということは話をしています。

ただ、機構さんの方もですね、来年の8月でありますので、その辺は先ほどから言ってるとおり、私としては解体の方が多くかかるんじゃないかと。せめて5,000万円くらいでも1億でも、今、マイナス入札があるので、お願いしたいということを書いて、それはできません、できる、ということで押し問答しているということは、委員の皆さんに話していると思っていたんですけど。情報はそれ以上ありません。

まだ細かく話し合いをしてませんので、おおよその話ということで、機構さんとの内々の話を今議員の皆様にしてるだけであります。ただ、多分ですね、先ほど言ったとおり、今年度中には機構さんから正式にですね、話し合いがあるものと思っております。そのときには



また議員に皆様にはきちっと説明をして、隠すつもりも何もありませんので、よろしくお願  
いします。

○委員（佐藤智子君） はい。

○副委員長（大久保建一君） ほかに質疑。

○委員（千葉 隆君） はい。最後に。

○副委員長（大久保建一君） 千葉委員。

○委員（千葉 隆君） あの、現実的には国立病院のあそこの移転というのは、もう逃れな  
い、逃れることができないというか、現実として受け止めてかなければならない時期だと思  
うんです。1年を切る状況の中で。

それでただ、あそこの面積も大変大きいということで、まず初めに、最初にあそこの跡地  
の部分は機構さんの方で候補かけたけれども、民間で全部をすべて活用できるような計画  
自体が出てこなかったということで、今の時代なかなかこの八雲町に全部の土地を活用で  
きるような民間企業が出てこないというのが実態だと、現実だというふうに、私も認識して  
おりますし、現実そうゆう経過を辿っているということになれば、私も出雲町在住なもんだ  
から、やっぱり出雲通り線という状況の中で、あそこをどうやって活用するかというのは当  
然出てくると思うんです。庁舎の問題以外にも。

だからやはりそのことをやっぱり、町長冒頭でさっき途中から、町全体の計画の中でのや  
っぱり活用法という部分では、しっかりと取得するものは取得して、活用できるものは活用  
し、やっぱりワンストップもそうだけでも、コンパクトシティの部分からすると、やっぱり  
高齢化が進んだりしていく部分は、庁舎内のワンストップじゃなくて、ある程度敷地内の行  
政サービスのワンストップ化というものにやっぱりやっていかないと、庁舎出て違うとこ  
ろにまた行政手続きいかなければならないだとか、やっぱりできる限り行政的な施設は集  
約化するというのも視野に入れば、やっぱり全体的な交流のメリットというものも出  
てきますし、町の行政施設だけじゃなくて、国の機関だとか道の機関だとかもあろうかと思  
いますので、そういった部分での唯一の部分も含めてね、活用できるとか、デメリットもあ  
るか分かりませんが、やっぱりメリットとして考えてまちづくりをするというのが  
町民のニーズだと思うんですよね。

同じところでいろんな公共的な施設が集約されるというのが、やっぱり高齢化になれば  
なるほど、そういったものが求められてくるので、強くお願いしたいなと思います。

○町長（岩村克詔君） 委員長。

○副委員長（大久保建一君） 町長。

○町長（岩村克詔君） 千葉委員おっしゃってるとおりですね、やはりそのもしも役場庁舎  
がですね、皆さんの意見で、あそこの場所じゃない方がいいというのが多ければですね、ま  
た考えなければならないと思ってます。

ただ、話をしますけれども、その今国立病院を守る会の皆さんの話し合いの中では11月  
いっぱい。これ11月いっぱいを見てくれと。その中で町があそこ全部を機構から受けて、  
守る会の方では一部の医療をですね、残る業者を探しているというところで、守る会の皆さん  
からも町は協力してくれということを言われてますので、その辺は11月いっぱいまで我々  
としてもですね、守る会の意見を尊重して、あそこの部分に残る方の医療がですね、守れる

ような、そういうことを連れてくるというような話しもありますので、その辺は十分にですね、意見を聞きながらですね、町としても協力したいと思ってますので。あれはやはり町で受けるということが一番いいのかなということで考えています。はい。

○副委員長（大久保建一君） いいですか。はい。そのほか。

○委員（赤井睦美君） はい。

○副委員長（大久保建一君） 赤井委員。

○委員（赤井睦美君） 先ほど特例債が、新築でも改築でも使えるということで、特例債があるときは改修もそうゆうふうで得な人たちでできるんだけれども、改修ってずっと先を考えると、また改修しなければならぬというのが、新築よりも早くくるわけで、その時に特例債がなければ、そのときの人たちがかなりつらい思いをされると思うから、なるべく未来の人たちに苦労を残さない。そういう方法で考えていただきたいと思います。

というのが一点と、私は今の場所は皆が慣れているからいいという意見がすごく多いんですけども、若者ってあまり役場にこないし、どこでもいいという意見も結構多いんですよ。若者の中では。それで、できて使うのはそういう人たちの時代になるわけだから、なるべく若い人たちの意見も尊重して、それと、こう役場って堅くて行きにくいという雰囲気があるから、やっぱりその施設全体の雰囲気が憩いの場になるように、そういうことを是非お願いしたいと思います。以上です。

○町長（岩村克昭君） 委員長。

○副委員長（大久保建一君） 町長。

○町長（岩村克昭君） 今、赤井委員さんがおっしゃってるような意見はですね、結構多くいただいております。それで、確かにですね、古いものを改修して、例えばまた10年15年で改修工事になる。さらに古いものでランニングコストはかかっていくよりはですね、ある部分を見て替えた方がいいんじゃないかという方も多くいますし、また、若い人の中にも赤井委員おっしゃっているとおり、もう少しオープンのかたちの役場が欲しいという方もいますので、その辺の意見も尊重しながら、これから検討していきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

○副委員長（大久保建一君） ほかに。

○委員（関口正博君） はい。

○副委員長（大久保建一君） 関口委員。

○委員（関口正博君） 庁舎建設にあたって、当初、町長はなるべく安価にということでお話しされてたと思いました。

それで、アンケートの集計はこれからでございますけれども、各地域でいろいろ懇談会を積み重ねているというのは、お伺いしております。今の町長の建設に対する思いというのは、変化はございましたか。

○町長（岩村克昭君） 委員長。

○副委員長（大久保建一君） 町長。

○町長（岩村克昭君） 確かにですね、関口委員おっしゃっているとおりですね、始めは安く安くと、全部改修してでもね、10億もかけたくないなど。15億だとか20億くらいかけたら手一杯かなと少し考えましたけれども、先ほど赤井委員さんがおっしゃってるような意見

も結構多いんですよね。だから先ほど言ったとおり、コンサル、専門業者に建物を見てもらったら結構改修にもかかるし、また、国立病院に勤めた方々の思いもの残るといような話もあるのでね、解体しちゃった方がいいのかなと、今チラッとってます。

○副委員長（大久保建一君） いいですか。

○委員（関口正博君） はい。

○副委員長（大久保建一君） 関口君。

○委員（関口正博君） 議会もそうなんですけれども、職員の方々との話し合いというのは、これどの程度進んでいるんですか。まだやっていないんですかね。

○町長（岩村克詔君） 委員長。

○副委員長（大久保建一君） 町長。

○町長（岩村克詔君） 確かにですね、職員の方々と話し合いをしています。確かに関口委員さんおっしゃってるとおりですね、町民の中にも、一番使うのは職員だろうと。職員の意見も大事だぞという意見もですね、本当にこの今回いろんな地域に出ながらいろんな町民と意見交換しましたけども、まだこれからも今日もしますけども、本当に良い意見もたくさん出てますので、その辺も尊重しながら、また職員ともですね、今もきちっと議論してますけど、さらに議論を深めて進めてまいりたいと思ってます。はい。

○副委員長（大久保建一君） ほか。

○委員（関口正博君） はい。

○副委員長（大久保建一君） 関口委員。

○委員（関口正博君） 様々な新聞報道等でですね、まあ、八雲の話じゃないですけど、喫煙所の問題で、これは避けて通れない問題かと思えます。

それで、私も喫煙者でございますけども、まあ当然職員の方の中にも、どのくらいのパーセンテージの喫煙者がおられるのかは分かりませんが、相当数いらっしゃると思います。これは、問題を先延ばしにするんじゃなくて、同時にきちんとお話をしていくということ、これは大切なことかなと。これを作る作らないは別としてですよ。いろんな職員の意向なんかもですね、きちんと汲んでいただきたいなという、そのことにちゃんと項目に入れながら、これは喫煙者、非喫煙者がきちっと納得するようなかたちで、お話が進んでいけばいいなと思ってますけど、その辺はどうでしょう。

○町長（岩村克詔君） 委員長。

○副委員長（大久保建一君） 町長。

○町長（岩村克詔君） 改築にあたり、改修にあたるにしても、庁舎内には喫煙所を作らない。このこと同じですね、考えてます。

ただ、喫煙する場所というのは、私は必要だろうと。特に私も、今は吸ってませんが、元々吸ってましたので、吸っている方の気持ちも分かりますし、また、そのことによって、あんまり離れたとこにいたりすることもあるので、場所的なものはね、必要ではないかと考えています。

○副委員長（大久保建一君） ほか。

○委員（牧野 仁君） はい。

○副委員長（大久保建一君） 牧野委員。

○委員（牧野 仁君） 今回の庁舎建て替えにあたりですね、地産地消で八雲町は森林で8割以上占めている。そんな関連で、八雲町も所有4,000ヘクタール以上あるのでね、できれば木材を使った建築法を考えていただきたいなど。

○町長（岩村克詔君） 委員長。

○副委員長（大久保建一君） 町長。

○町長（岩村克詔君） 木材、確かにこれから、計画よりは実施設計にあたってはですね、木材等々を使いながら試算してみたいと。さらにですね、チップボイラーなんかも良いんじゃないの、●●ボイラーなんかも良いんじゃないのって、その辺もですね、これから特にもし改築するのであれば、その、電力。太陽光なり蓄電池なり発電機等々の整備をして、地震、津波、災害のときにはですね、必ずその場所には電気がとおって、町民の多くの方々が、その場所に逃げて来てもですね、ある程度のことはできるような、そんな設備にしてみたいなと思ってますので、よろしく願いいたします。

○副委員長（大久保建一君） ほか。

○委員（田中 裕君） はい。

○副委員長（大久保建一君） 田中委員。

○委員（田中 裕君） この間の9月の12日に我々委員会やったとき、間もなく新聞報道で記事出たんですよ。皆さん知ってると思うんだけど。そこで、どうゆう新聞記事が、どうゆうことかという、要するに総事業費というのかな。本体価格が38億、40億くらいかかりますよっていうんだけど、その土地の売買等は、今、解体費と土地代と相殺できるんじゃないかということなんだけど。総事業費といたらどのくらいに膨らんでいくんだらうか。本体と、あとは外構だとかさうゆう、もろもろのものはありますよね。

それで、私はこれをなぜ聞くかという、総合病院改築計画があったとき、あそこ当初30億ということで走ったんだよね。それでできた。グランドオープンした後、最終的になんぼかかったっていったら、45億くらい最終的にかかったんじゃないだらうか。だから、そののところに持っていくことはいいんだけど、総事業費といたら、これは何十億くらい、舗装やったり外構工事やったり、全部やってグランドオープンになるとなると、どのくらいに膨らんでいくんだらうかね。

○町長（岩村克詔君） 委員長。

○副委員長（大久保建一君） 町長。

○町長（岩村克詔君） 前ですね、議会の中でもお話ししましたが、総事業費とすれば、私は合併特例債の38億ということが一つのラインだということは思っています。

ただ、今ここに示された金額というのはですね、まだまだ何も詰めていない金額でありますので、ただ、この建築等々はですね、その時代でいろいろ変わります。

ちょっと前もですね、オリンピックの影響で鉄骨等々、特にハイテンションボルトが入ってこない。6か月8か月も入ってこないということでありましたけど、ここに来てオリンピックも建物も終わってきたので鉄骨のボルト等々もですね、少しは緩やかになってきましたけども、これからの状況ですとね、この大きくなればなるほどですね、業者の方も知ってる方もいますけど、大きくなればなるほど、金額は少し上がることはあるだらうと。

ただ、総事業費とすれば、この合併特例債を超えたくはないなど。ただ、しかし、先ほど委員さんからいろいろ質問はありましたけど、ここも解体したり、この後どうするんだと。さらにですね、先ほどシルバープラザの改修工事どうするんだ。それと、もしも教育委員会がなくなった場合には、教育委員会の場所にもですね、やはりそれなりの建物を建てるだろうということを考えると、もうちょっと別なことも考えなきゃいけないのかなということで考えてます。

○委員（田中 裕君） ということは

○副委員長（大久保建一君） 田中委員。

○委員（田中 裕君） ということは、今現在、そういう総事業費というのかな、そういうのはまだ明示されないということでおさえておけばいいのかな。

それでね、先ほどから、その機構との最終的な話し合いをこれからされるわけだけでも、町長は今年度中ということは、来年の3月31日ころまでには、だいたい話が詰まってくるという、そんなに早くきます。話し合いって。結論が出るものなのかな。来年の3月31日で機構と最終の話し合いが決着できるということでもいいんですか。

○町長（岩村克詔君） 委員長。

○副委員長（大久保建一君） 町長。

○町長（岩村克詔君） これはですね、先ほども言ったとおり、機構の思いどおりに話がつけるとすれば来年の3月、年度内には一定程度のことは決まると思います。

ただし、条件闘争ではないですけども、我々としたらもうちょっといい条件でということではキャッチボールはする可能性はありますけども、決着部分というのはですね、機構さんの思ったとおりにいいですよとなれば決まります。

○委員（田中 裕君） すぐ決まるよね。

○町長（岩村克詔君） はい。そうゆことでございます。

ただし、そうはいかないだろうということが、これからの交渉でしようねということをお先ほど申し上げました。

○委員（田中 裕君） それでね、あ、はい。

○副委員長（大久保建一君） 田中委員。

○委員（田中 裕君） 私、総事業費を聞いた根拠は、合併特例債が使えるんだと。要するに、外構工事もきちっと整備して、例えば50億かかったと。最終的にね。そのうち合併特例債というのはどれくらいの使えるものなのか、金額の割合というのかな。それはまだ出てないの。吉田係長の範疇の中では。これからの話か。

（何か言う声あり）

○委員（田中 裕君） 要するに、50億かかると。その内なんぼくらい。その。

（何か言う声あり）

○町長（岩村克詔君） 50億ったら38億。

○委員（田中 裕君） 38億が限度なの。いやいやいや。

（何か言う声あり）

○委員（田中 裕君） その確認だったんだって。

○町長（岩村克詔君） 委員長。

○副委員長（大久保建一君） 町長。

○町長（岩村克詔君） 合併特例債は、残り 38 億でありますので。

○委員（田中 裕君） 38 億。

○町長（岩村克詔君） ただ、これ以上は使えません。

ただし、今その耐震化とかというのもですね、来年で終わりなのかな。だってこれもいろんな過疎債も来年 1 年で変わるので、いろんな部分が今変わってこようとしています。ただ、先ほど私が話したのはですね、合併特例債の 38 億以内で移したいなという思いであります。

○委員（田中 裕君） 了解です。

○副委員長（大久保建一君） ほか。

当初私の方から話したとおりですね、質疑だけではなく、今回は意見もあれば出していただきたいと思ってますけども、よろしいですか。

なければちょっと私の方から。

この今回の計画規模という前提として、現在の組織機構を基本とし、201 人を基準とする。それを前提として作っているんですよね。

ただ以前、公共施設の総管理計画作ったときには、人口情勢を踏まえながら、それに合った規模のコンパクト化をしていきますという話だったんですよね。その辺はどうお考えなんですか。

○町長（岩村克詔君） 委員長。

○副委員長（大久保建一君） 町長。

○町長（岩村克詔君） この、今は概算の金額を我々として調べるために、それと改築、新築した場合、さらに改修した場合のいろんなパターンで値段の違いを見るための、この一つの目安として出したということですね、御理解をいただきたいなと思っております。

ただ、委員長おっしゃってるとおりですね、これから本当に改築するとなると、やはりこれから 10 年 20 年後の役場職員の人口、まあ人口形態を見ながら、コンパクトにしながら、もしも建てたときには、ちょっと狭いなとかたちでもですね、10 年後から丁度良くなると、そんなものを見据えながらですね、ただ、いろんな人の先ほど言ったように住民の意見を聞くそうですね、役場入ってすぐに受付ではなくて、ちょっといい広場があって、憩える場所や、その前にも、ちょっといろんなのがあればなど、いろんな意見がありますので、その辺もですね、加味しながら考えてみたいということをお願いいたします。

○副委員長（大久保建一君） あの、いいですか。そしたら、今示されているものは、概算だけど、マックスとして考えてよろしいんですね。

あと、もう一点いいですか。示された中の D 案が、D 案であれば、国立病院の建物を使うという考え方なんですよ。ただ、配置図を見ると、6 病棟と 5 病棟と 7 病棟と運動療養棟と第 2 病棟。かなり飛び地になるかたちなんですよ。現実的にいったら、ものすごい使いかたが悪い感じで、実質これはなしかなと思ったんですけども、その辺はどうお考えですか。

○町長（岩村克詔君） 委員長。

○副委員長（大久保建一君） 町長。

○町長（岩村克詔君） 確かにですね、委員長おっしゃってるとおり、町民の中からも使い勝手、先ほど話しましたが、国立病院の関係者は、特に思いもこもっているし、そしたら解体した方がいいんじゃないかという意見も多いということで、その辺もこれからアンケート並びに、これから今日もあります住民の意見も聞きながらですね、11月の中くらいにはある程度ですね、方向性、さらに議員の皆さんと特別委員会ですね、12月には再度、方向性を決めたいと思っています。そういう意見は多いです。

○副委員長（大久保建一君） あと、千葉委員からランニングコストの話が出てたので、うちのこの特別委員会の中からも、提言書の中にはランニングコストを考えてくださいと出てたので、今回この概算の中にはランニングコストが出てないので、その辺の考察も十分お願いしたかったです。

○町長（岩村克詔君） しっかりやります。

○副委員長（大久保建一君） ほかにありますか。

（「なし」という声あり）

○副委員長（大久保建一君） なければよろしいですか。

（「はい」という声あり）

○副委員長（大久保建一君） それでは、今回はこうゆう意見を話すだけということで、特にまとめはしないということになっておりますので、この出された資料の話はこれで終わりたいと思います。

○町長（岩村克詔君） 最後に一言いいですか。

○副委員長（大久保建一君） はい、どうぞ。

○町長（岩村克詔君） これから11月いっぱいにある程度ですね、方向性、今日も町民と話し合いをしますけれども、委員の皆様もですね、もし11月中くらいまでに何かいろんな意見があればですね、住民の意見として何か寄せていただければなど。それによってまた我々も方向性を考えると。

さらに12月のまた特別委員会では、もう少しこまい部分で皆さんと話し合いをしながら、一定の方向を決めてコンサルにかけたいと。そんな思いでありますのでよろしくお願いたいと思っています。

さらにですね、もう一点、ふるさと納税。去年はたくさんいきすぎましたので、今大変苦労しておりますので、千葉委員さん、去年もですね、ミルキーを使ってPRしていただきましたので、議員の皆さんもですね、政策推進課の方にはパンフレットとミルキーがありますので、どうかですね、また町外の人にPRしていただければなど。なにか会合があるときには、まとまって持って行っていただければなど。

この度、不二家さんと大変良い関係で、ミルキー並びにですね、今月末には大阪の方ですね、PRに行くときには、ペコちゃん、ポコちゃんもですね、全部提供しながら、ミルキーの製品も不二家さんから提供していただけるとゆうことでありますので、よろしくお願いたします。すみません。ありがとうございました。

（町長 岩村克詔君、総務課長 三澤 聡君、総務課主幹 吉田種榮君、総務課庶務交通係長 吉田正樹君 退席）

◎ その他

○副委員長（大久保建一君） 次にその他といたしまして、その他の持ち合わせの方、いらっしゃいますでしょうか。

（「なし」という声あり）

◎ 閉 会

○副委員長（大久保建一君） ではですね、次回はですね、12 月定例会の会期中に開催することを予定しておりますのでお願いいたします。

あとはよろしいですか。

以上で特別委員会を閉会いたします。

[閉会 午後 3 時 5 4 分]